

令和2年度 環境活動スタート事業

1 実施校

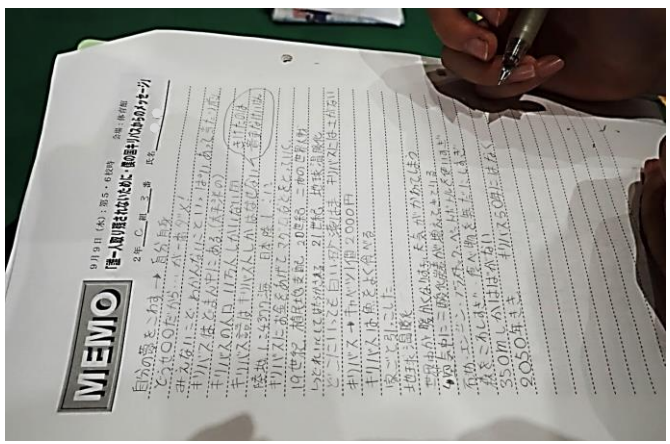
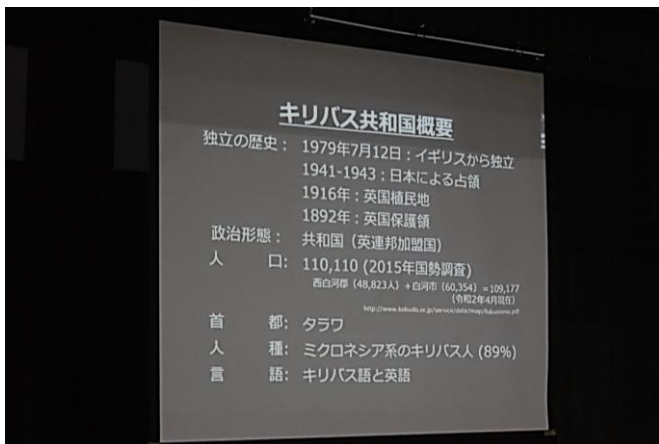
西郷村立西郷第一中学校（第2学年）

2 実施日

令和2年9月9日（水曜日）

3 内容

「だれ一人取り残されないために＝僕の国キリバスからのメッセージ＝」をテーマに、一般社団法人日本キリバス協会代表理事のケンタロ・オノ氏による講演会を行いました。キリバスの歴史や現状、また、地球温暖化が及ぼす影響について、資料映像（VTR）や写真を交えながら分かりやすく説明しました。



4 講演を聞いての感想

私の知らない世界のいろいろなところで地球温暖化による影響を受けているつらさや悲しみを改めて知りました。でも、そんな中で、ケンタロ・オノさんのように希望をもって笑顔で未来を救おうとしている姿に感動しました。私も今回の講演会で学んだことを生かし、少しでも世界を救うような活動をしたいと思いました。

私は、初めてキリバスという国を耳にしました。最初写真を見せてもらったときは、とてもきれいな国でいいなあと思いました。しかし、その写真の裏側で、あんなに悲しいことが起きていることを知って、地球温暖化の恐ろしさが身にしみました。そして、この国の人たちを守るために私たちに何ができるのか考えさせられました。

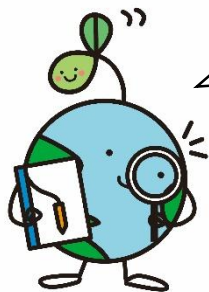
キリバスという国がどういうところなのか、そして、今どういう状態になっているのかを知ることができました。人間一人一人が地球温暖化に対してしっかりとした考えをもつことが大事だと思います。自分の国さえよければ良いと思うのではなく、地球全体を守っていきたいと思いました。

今まで、地球温暖化は自分にはあまり関係ないと思っていました。しかし、講演を聞いて、日本で捨てられたゴミがキリバスまで流れついていること、日本人は食べ物を無駄にし過ぎていることを知り、私たちにも深く関係していることが分かりました。キリバスの子どもたちを救うために自分に何ができるのかを考える良い機会になりました。

地球温暖化による地球への悪影響が身近なところにもあらわれてきていることを知って、できるだけエコな暮らしをしていこうと思った。そして、キリバスの人たちの思い出や暮らしを守る手伝いができたらいいと思う。

私が思っている以上に、世界の国々で地球温暖化の影響が出ているんだなと思いました。キリバスのような綺麗な海や砂浜を守っていくために、私たちにできることはたくさんあると思うので、今以上に地球温暖化防止の活動に取り組んでいきたいです。

最初は、キリバスについて何も知らなかったけれど、キリバスがおかれている状況について知ることができた。また、地球温暖化はとても身近なもので、人の故郷や思い出を奪ってしまうということがすごく伝わった。自分たちの目線から一歩下がって考えてみようと思った。



福島県の環境保全の
キャラクター「エコたん」

講演を聞いて、自分にもできそうだったこと、やってみようと思ったことは何かな？また、それを実践してみてどう感じたかな？

- 食品ロスをしない。
- 自分の食べきれぬ量だけよそう。
- 車をできるだけ使わない。

給食の時間、食べきれずに残してしまうことが多いので、自分の食べきれぬ量だけよそい、その分、友達や食べたい人にあげようと思う。また、晴れの日やくもりの日は、自転車で登校するなど、引き続き取り組んでいきたい。



- リサイクル
- ポイ捨てされたゴミを拾う。

ポイ捨てされたゴミがたくさん道に落ちていました。通学路にもたくさん落ちていたので、友達と拾うことにしました。そしたら、2 kmの道のりのゴミを集めただけで5袋分になりました。きっと海にも流れ着いたゴミがたくさんあるのだろうと感じました。



- ペットボトルを利用しないようにする。

僕はサッカー部に所属していて、ペットボトルに入ったスポーツドリンクを水筒に入れて持っていましたが、これからは粉末のものを水で溶かして水筒に入れるようにし、地球温暖化対策をしていきたいです。



- 食品ロスを減らすよう心がける。

自分は、食品ロスを減らすことに挑戦しました。あたりまえのようにできている人はあまりいないと気づきました。

食料に対し感謝をし、食品ロスを出してはいけないという気持ちでこれからも続けていきたいと思います。



- 必要なときだけ電気を使う。

一晩中充電をしたり、見ていないのにテレビをつけっぱなしにしたりしていましたが、講演を聞いてから家で気をつけるようになりました。



- プラスチック製品をあまり使わないようにする。

実践しようと思っても、なかなかうまくいきませんでした。でも、これから少しずつ頑張っていきたいです。

